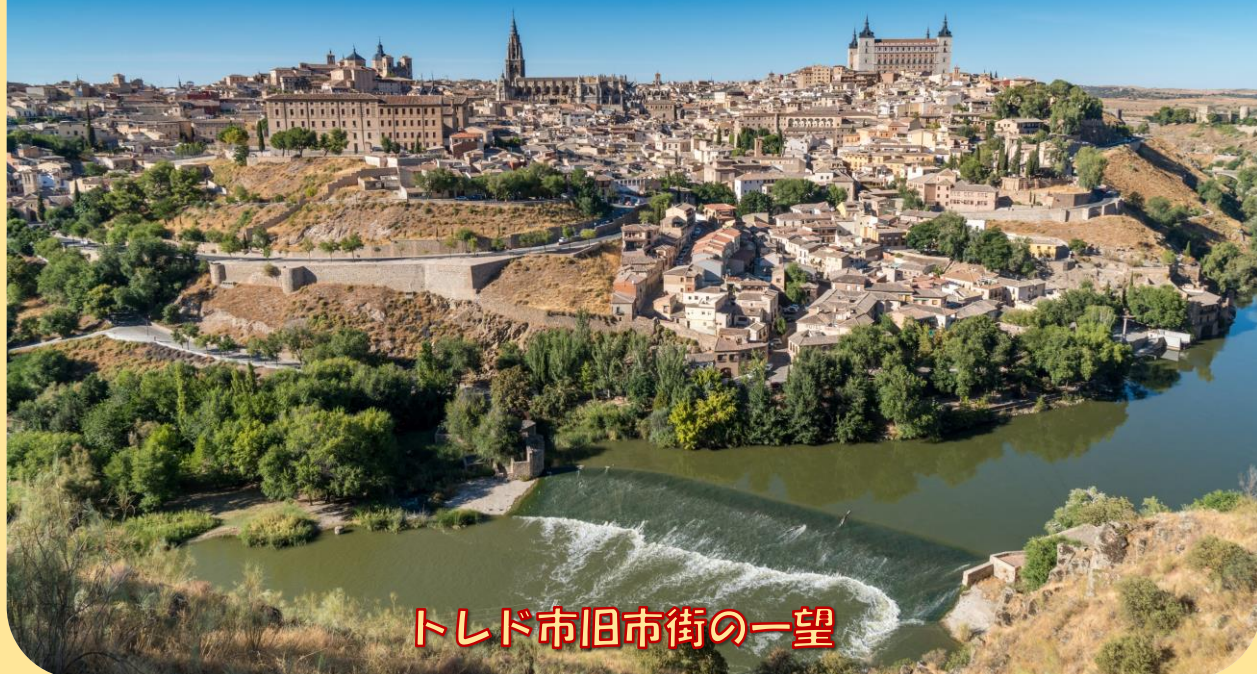




2号

NOS GUSTA ESPAÑA

『ノス・グスタ・エスパニャ』はスペイン語で「私たちはスペインが好き」という意味です



トレド市旧市街の一望

<内容>

1. スペインの知っちょる？

三つの宗教文化が融合する街、トレドを紹介します

2. 観光のおすすめ

スペイン世界遺産のサンティアゴ巡礼路についてです

3. スペイン語ミニ講座

すぐ使えるスペイン語表現を紹介します

4. 子ども向けの情報・ゲーム

ゲーム感覚でスペインの豆知識が身に付けられます

5. 家庭でも作れるおいしいスペイン料理

夏野菜をたくさん食べられる「ピスト」を作しましょう

6. エスパニョール in 山口あるある

スペインで会釈して、自分が日本人化したことを自覚しました

1. スペインの知っちゃる？

三つの宗教文化の混交、要塞都市のトレド



トレドでチェス対決を楽しむユダヤ人と
イスラム教徒の絵画

古都トレドの文化は、かつてキリスト教徒、イスラム教徒やその支配下にあったユダヤ教の人により大いに繁盛しました。そのため、現在トレドは「三つの宗教文化の要素が混じり合う要塞都市」として人気が高いスペインの世界遺産の一つです。当時トレドは学問の文化交流大都市だったと言われており、13世紀にトレドにあった巨大図書館では、多くの書籍がアラビア語からラテン語に翻訳され、ヨーロッパで衰退していた古典文学などでの価値観が再認識され、やがてルネサンス運動につながっていきます。有名な画家の「エル・グレコ」を虜にしたトレドには、スペインを訪れるだけの価値があります。

2. 観光のおすすめ

「サンティアゴ巡礼路」

スペインは世界遺産の宝庫であり、47カ所の登録で世界3位となっています。その中で、「サンティアゴ巡礼路」が有名です。この巡礼路のうち、フランスの道と東のルートは、ナバラ自治州の小さな町、中世の面影が色濃く残っているプエンテ・ラ・レイナで合流します。テンプル騎士団の管轄下にあったこの町の地名は、11世紀にナバラの王女のために架けられたロマネスク様式の橋に由来します。ワイン貯蔵庫が集中しており、サンティアゴ巡礼路と共に発展していったナバラの深い歴史を連想させる穏やかな町です。

巡礼路の日本語サイト：

<https://www.camino-de-santiago.jp>



エウナテ教会



プエンテ・ラ・レイナ（王女の橋）

3. スペイン語ミニ講座

スペイン語表記

発音

意味

¡Vaya pinta!	バヤ・ピンタ	美味しそうですね
¡Qué rico!	ケ・リコ!	美味しい!
¡Buenísimo!	ブエニシモ!	すごく美味しい!
¡Me encanta!	メ・エンカンタ!	大好きです
Buen apetito*	ブエン・アペティト	いただきます
Gracias por la comida	グラシアス・ポル・ラ・コミダ	ごちそうさまでした

スペイン代表選手にかきたい言葉

¡Bravo!	ブラボ	いいぞ!
¡Genial!	ヘニアル	素晴らしい!
¡Fantástico!	ファンタスティコ	すごい!
¡Maravilloso!	マラビヨソ	素敵!

* 食事の際、他の人の健康を願ってマナーとして交わされる表現です。

4. 子ども向けの情報・ゲーム

ミゲル・デ・セルバンテスによるスペイン文学の有名な人物、「ドン・キホーテ」は、びんぼうでしたが、昔のえいゆうにとってもあこがれていました。ずっとそのような物語の読書におぼれていると、いつの間にかげんじつがわからなくなり、風車を巨人に見間違えてたたかったりします。ちなみに、ドン・キホーテが旅した町として、トレドにどうぞがたっています。そのドン・キホーテに好きな色をぬってみませんか!



「ドン・キホーテ」

5. 家庭でも作れるおいしいスペイン料理



材料

ニンニク 2 かけ
玉ねぎ 250g
ピーマン 200g
パプリカ 200g
トマト 4個
ズッキーニ 300g
オリーブオイル (適量)
塩 (適量)

4人分

ピスト・マンチェゴ

作り方

- ① トマトの皮を剥きやすくするため、適量の塩の入った水を沸騰させ、20分程度浸しておきます。皮が剥けたら、細かく碎きます。
- ② 玉ねぎとニンニクを均等に切り、狐色になるまで、弱火でオリーブオイルで炒めます。
- ③ 均等に切ったピーマンとパプリカを加え、弱火で15程度炒め続けます。
- ③ ズッキーニとトマトを追加して、塩と胡椒をお好みに調味し、すべての野菜が柔らかくなるまで、蓋をして弱火で炒めます。
- ④ 蓋を開けて、さらに炒め、トマトの水分が消えたら完成です。
- ⑤ スペインでは地域によって、焼き玉や豆と一緒に盛り合わせたりすることもあります。

6. エスパニョール in 山口あるある



久しぶりに母国、スペインに帰った時のこと…

スペイン語のイントネーションがおかしいと指摘される…しかも、人とすれ違った時に、つい会釈をしてしまって、「なんでお辞儀するの？」と家族に不思議がられます。日本人化してきた自分に戸惑うエスパニョール

発行先・お問い合わせ

山口市国際交流課
国際交流員エフライン
083-934-2725

kokusai@city.yamaguchi.lg.jp

感想をお聞かせください！

2020年6月発行